

平成29年度事業計画（平成29年7月1日～平成30年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
<一般会計>			
(1) ネットワークの 拡大・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○患者・家族会への助成金交付 ○患者・家族会設立助成金の交付 		
(2) 情報収集提供 ・政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ○発症初期に必要な情報が詰まった1型糖尿病患者向けのバック配布（希望のバッグプロジェクト） ○インスリン補充が必要な2型糖尿病患者向けのバッグ配布（希望のバッグプロジェクト2）<新規> ○20歳以上の患者支援策実現に向けての政策提言 ○介護職員によるインスリン注射が可能となるための政策提言 ○新しい医療機器等の安全講習会の開催 ○学校、幼稚園等での説明用パンフレットの配布 ○1型糖尿病の概要を説明したリーフレットの配布 ○インスリンの補充が必要な2型糖尿病患者への啓発<新規> 	<ul style="list-style-type: none"> ○PRESS IDDMによる情報発信の強化 ○1型糖尿病[IDDM]レポート（IDDM白書）2017の作成 ○インスリンポンプ、カーボカウンタ、CGM（持続血糖測定モニター）等のセミナー開催 ○新たな医療技術・医薬品・医療機器の承認の迅速化、患者医療費負担の軽減及びインスリン補充の有効性についての政策提言 ○各種学会への参加による情報発信 	
(3) 調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ○1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart1～5（6種類）の配布 ○スタンフォード大学が開発した慢性疾患セルフマネジメントプログラム（CD SMP）の普及協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的インパクト評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファンドレイジングの強化（研究投資等） ○低血糖アラート犬の日本導入

平成29年度事業計画（平成29年7月1日～平成30年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
(4) 関係団体との連携		○ JDRF（米国の1型糖尿病研究財団）等国内外の糖尿病関係団体、製薬業関係団体、医療系関係団体等との連携	
(5) 普及啓発	<p>【地元貢献】</p> <p>○佐賀県内のファミリーハウス運営への協力</p>	<p>○「僕はまだがんばれるー “不治の病” 1型糖尿病患者、大村詠一の挑戦ー」（じゃこめてい出版）による啓発</p> <p>○1型糖尿病の絵本を全国の図書館、病院の待合室等に送付（「1型糖尿病」の絵本を贈ろう！プロジェクト）</p> <p>○プロ野球、エアロビックの試合等での啓発</p> <p>○教育機関等の講演会での啓発</p> <p>【地元貢献】</p> <p>○佐賀県内の教育機関やNPO関係者への講演等</p>	
(6) 療育相談	<p>○電話やメールによる相談</p> <p>○ホームページのリニューアル（スマートフォン対応等）による情報発信</p>	○老人福祉施設関係者との情報交換	
(7) 会報発行	<p>○会報の発行（年2回程度）</p> <p>○メールマガジンによる情報発信（年6回程度）</p>		
(8) 管理運営	<p>○常勤理事の選任に向けての活動・運営体制の強化</p> <p>○女性の活躍による活動・運営体制の強化</p> <p>○弁護士、税理士及び社会保険労務士との顧問契約による運営体制の強化</p>		

平成29年度事業計画（平成29年7月1日～平成30年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
< 1型糖尿病研究基金特別会計 >	1型糖尿病の根治に向けて研究を進める研究者や研究団体に対し研究費の助成を行うことにより、1型糖尿病を” 治る ” 病気にする。		
(1) 1型糖尿病研究費助成			<ul style="list-style-type: none"> ○第12回研究費助成 ○第13回研究費助成 ○継続研究費助成 ○三林浩二東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授グループによる研究（①「体を傷つけない血糖値評価」を目指した唾液糖の計測装置（マウスガード型バイオセンサ）の開発、②「小児発症での早期発見」および「QOL向上」を目指した呼気アセトンガス用バイオセンサの開発、③糖尿病治療のための人工膵臓を目指した薬物放出システムの開発）への助成 ○永淵正法佐賀大学医学部客員研究員・九州大学名誉教授グループによるウイルス糖尿病予防ワクチン開発への助成 ○第1回山田和彦賞授与と第2回山田和彦賞公募 ○低血糖アラート犬日本導入への助成<新規>

平成29年度事業計画（平成29年7月1日～平成30年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
<p>(2) 広報 ※1型糖尿病研究基金の 造成</p>			<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとチョイス、佐賀県庁との協働による「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」プロジェクト ○ソフトバンク社との協働による「かざして募金」及び「チャリティモバイル」プロジェクト ○YAHOO! JAPANネット募金プロジェクト ○クラウドファンディングプロジェクト ○gooddo社との協働によるマンスリーサポータープロジェクト ○1型糖尿病「治らない」から「治る」－”不可能を可能にする”－を応援する100人委員会による取組 ○1型糖尿病「治らない」から「治る」－”不可能を可能にする”－を応援する希望の100社委員会による取組 ○冠基金の取組 ○希望の自動販売機プロジェクト（寄付つき自販機の設置） ○ノーモア注射－希望の本プロジェクト－（古本の提供呼びかけ） ○書き損じはがきプロジェクト（未使用はがきの提供呼びかけ） ○毎日gooddoの「応援する」ボタンをクリックしシェアする取組 ○寄付つき商品のPR（医療識別票、ポーチ、有田焼、有明海産の海苔、チョコレート、印刷物等） ○遺贈、香典返し
<p>(3) シンポジウム</p>			<ul style="list-style-type: none"> ○研究室訪問及びサイエンスカフェ開催 ○2025年1型糖尿病「治らない」から「治る」－”不可能を可能にする”－をテーマに開催
<p>(4) 管理運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○常勤理事の選任に向けての活動・運営体制の強化 ○女性の活躍による活動・運営体制の強化 ○弁護士、税理士及び社会保険労務士との顧問契約による運営体制の強化 		